

## 第 33 回『なかま』実践研究集会について

平素は、人権教育の推進並びに本会発展のためご尽力を賜り深謝申し上げます。

1960年に発刊された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改定され、『なかま』は、多くの学校・園・所において様々な授業実践が展開されています。また、県教育委員会からは「なかまとともに小学校1」が2012年度に、「なかまとともに小学校2」が2013年度に、「なかまとともに中学校」が2014年度に、そして「なかまとともに高等学校」が2015年度に発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第1回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告など、第33回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折りとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 主 催 奈良県人権教育研究会
2. 期 日 2020年2月7日（金）
3. 会 場 かしはら万葉ホール  
 橿原市小房町 11-5  
 （近鉄畷傍御陵前駅より北東へ900m）  
 全体会：5F レセプションホール 2  
 分科会：5F レセプションホール 1・2  
 4F 研修室 2



\* 参加者すべての駐車場の確保はできませんので、公共の交通機関でお越しいただくか、有料駐車場をご利用ください。

### 4. 研究テーマ

すべての子どもたちに、人権についての認識を深め、部落差別をはじめさまざまな人権の問題を正しく理解・認識させるために、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

### 5. 日 程

受付	挨拶 趣旨 説明	全 体 会		移動	分 科 会
		講演	子どもたち、そして学びの新たなであい ～学習支援、居場所づくりの現場から～		
		講師	中森幹也さん (県社協 子ども学習相談支援員/元桜井市教員)		

13:00 13:30 13:40

14:50 15:00

16:30

6. 参 加 費 1,000円（資料代）

7. 参加申込 参加を希望される方は、参加申込書を各郡市人教事務局に、1月 日までに申し込んでください。

8. 全体会 講演 子どもたち、そして学びとの新たなであい  
～学習支援、居場所づくりの現場から～

講師 中森幹也さん（県社協 子ども学習相談支援員/元 桜井市教員）

学校現場を離れて3年。もう「先生」なんて呼ばれるのはこりごりと思っていたはずだったのに、今も目の前には子どもたちが。しかも、多くが様々な要因で学びと育ちを疎外されてきた子どもたち。手強くて、しぶとくて、したたかで、そしてもろい。しんどい時は、学校現場ではたくさんのなかま（同僚）、子どもたちに助けられた。今はふたりぼっち。相棒と「まるで『同推（人推）』やな」とちよっとうれしそうに言いながら、今日も子どもの家に行く。自分も肩の力が少し抜けたかな。そんな今、昔を。

9. 分科会

①学ぶということ ～カコを繰り返さない～

河合町立河合第一中学校 松村 駿さん

入学当初から「不登校」「勉強に身が入らない」「親の離婚や虐待」と様々な生活課題を抱えた子どもたちとともに「自尊感情を高め、信頼関係をきずきあげる」ことを目標に取り組みをスタートしてきました。二学期になり、そんな子どもたちと『なかま』の教材を使って識字学級や夜間中学について実践的に学習しました。この学習を通して、子どもたちが何を感じ、それをどのようになかまに伝えたか、そこからわれわれ教員が得られた学びについて報告します。

②『迷信や言い習わしをしらべてみよう』の取組から

三郷町立三郷小学校 旧5年生教師集団

本校の5年生では、人権学習の重点教材として、例年「山の粥」（出典「部落の伝承十話」解放出版社）の学習に取り組み、その導入の部分として、『なかま』教材を使って「迷信や言い習わしをしらべてみよう」の学習を行っています。私たちの生活の中には、様々な迷信や言い習わしがあり、それが言われ続けてきたわけを調べ、検証することで、これらのことは本来何の科学的な根拠もないということに気づくことができました。今回は、こうした『なかま』を使って、「迷信や言い習わし」を調べ、話し合いを進めていく中で出てきた子どもたちのつぶやきや、思いについて報告したいと思います。

③『なかま』『なかまとともに』を活用するために

奈人教資料編集部会・葛城市立新庄中学校

資料編集部会は、これまで『なかま』『なかまとともに』を、それぞれの所属において、効果的に活用することに向けて研究を続けてきました。昨年度は部会員の所属校における実践教材を基に、小学校における「部落問題学習の教材一覧」を作成されました。本年度はこれを受け、『なかまとともに』の教材を、本年度の部会員の所属校等の年間計画や実際の実践例を基に、どのように教育課程に組み込むかを考えました。今年度は『なかま』『なかまとともに』の使い方を、さらに広めることができるよう報告します。

第33回『なかま』実践研究集会 参加申込書

所 属 校・園・所

No.	分科会 番号	名 前	No.	分科会 番号	名 前
1			3		
2			4		

各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください